

## ☆2019年花葉サマーセミナー&交流会

6月28日 千葉大学環境健康フィールド科学センター

# 「2019年花葉サマーセミナー&交流会」レポート 東京オリンピック後の花・緑産業の未来を考える ～植物を介した健康、街づくり、人づくり～

高 橋 耕 一

2019年花葉サマーセミナーが6月28日に千葉大学環境健康フィールド科学センター シーズホールにて開催されました。「東京オリンピック後の花・緑産業の未来を考える」と題して、平成の30余年を走り続けてきたトップランナー達を演者に迎え、「健康」「街づくり」「人づくり」をキーワードに、令和の新しい時代を生き抜くための進むべき道を考える会となりました。

### 開会挨拶

長岡 求 氏

花葉会理事長／代表理事

株式会社フラワーオークションジャパン 取締役

長岡代表理事より本セミナーにあたっての若く新しい取り組みについて、開会の挨拶がなされました。



### 「花壇活動が人を街を変える～自治体や地域住民が求める植物とは～」

渡辺 均 氏

花葉会理事／副会長

千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授

花葉会より渡辺副会長から登壇していただきました。当大学の環境健康フィールド科学センターの意義から活動内容の紹介にはじまり、健康機能性植物の定義と

はなにか、植物がもつ人に与える力をもう一度見直し、園芸における最後の未開拓分野へのアプローチである薬用機能性植物に関する取り組みについて、一般社団法人日本薬用機能性植物推進機構の役割について説明がなされました。また、行政と大学が協力し、地域社会へ貢献する取り組みについて、葛飾区の例を通して、現場で求められている植物の姿とは何か、住民の環境、年齢層、経験値、地域生産者など地域社会の特徴を行政と住民と大学と一緒に考える。人々の健康や幸福につながっていくための植物の役割とは何か。といったような話があり、大変考えさせられる内容でした。



### 「住民参加型の花壇活動の推進」

早坂 幸一郎 氏

東京都葛飾区環境部環境課 課長補佐

(緑と花のまち推進係長)

葛飾区では平成25年度より「花いっぱいのまちづくり」を基本計画の重要なプロジェクトとして区民・事業者と協働で推進してきました。地域の抱える問題を、花壇活動を中心とした取り組みで改善していく。それをバックアップする行政も、縦割りではなく部署を横断したチームで取り組んでおられることに大変驚きました。また産官学連携の立体花壇システムはまさに地に足のついた活動だと感じました。



## 「植物のセラピー効果とその活用法」

岩崎 寛 氏

千葉大学大学院 園芸学研究科 准教授

医療現場における植物を活用したセラピーや、作業療法の一環としての園芸プログラムであったり、ストレス負荷の高い都市域オフィスにおけるメンタルケア対策としてのオフィス緑化など、それらの諸問題に対して、緑にふれあうことで健康を取り戻すメカニズムや、効果を実験結果に基づいたエビデンスとしてわかりやすく紹介していただきました。



## 「都市緑化における花と緑の多様性と可能性」

水野 妙 氏

登録ランドスケープアーキテクト (RLA)

株式会社日比谷アメニス 景観環境二部主任

「都市緑化における花と緑の多様性と可能性」と題して登壇いただきました。デパートの屋上庭園から見た都会の緑の楽しみ方など、地域のコミュニケーションガーデンの意義を、都市部における造園施工の難しさや、壁面緑化などのトレンドなど様々な施工事例とともに都市緑化における事例をご紹介いただきました。また、社会・環境貢献緑地評価システムSEGESの取り

組みについてもご紹介がありました。



## 「緑化ビジネスの新潮流」

～今、お客様が求められているキーワードとは？～

梅澤 伸也 氏

株式会社パーク・コーポレーション parkERs

ブランドマネージャー

国内外に100店舗を展開する青山フラワーマーケットから2013年に派生した空間デザインブランド「perkERs」の設立メンバーである梅澤伸也氏にご登壇いただきました。人と植物や自然要素を共存させた空間プロデュースを展開し、デザイン性と専門性を融合させ、産業の垣根を越えたビジネスモデルは国内外から注目を集めています。講演では、チームの立ち上げから組織の作り方、エビデンスを基にしたデザインなど最新の取り組みをご紹介いただきました。これから新しい植物産業のかたちを見ることができました。



## 「屋内メンタルヘルスケア緑化における様々な可能性」

～LED照明、ハイドロカルチャーの可能性～

大林 修一 氏

株式会社プラネット 代表取締役

オフィスにおけるメンタルヘルスケアに緑化がどう切り込んでいくのか、その取り組みと必要となる周辺アイテムやエビデンスなど、新しい構想などをご紹介いただきました。オフィス緑化や屋上緑化、植物工場など、植物にも人にも快適な環境で植物と触れ合う様々な場を創ることにより、緑の空間が健常者だけではなく、高齢者や障がい者など多様な人々の健康維持や生きがいの場所に変貌します。緑の空間が単なる健康の場にとどまらず、新たな雇用の場となる今後の植物ビジネスの一つの方向性が感じられました。

## 質疑応答

多くの方にご質問いただき、更に深い議論がなされました。

## 総括・閉会挨拶

千葉大学 國分 尚 准教授より総括および閉会の挨拶があり、無事に閉会となりました。



## 懇親会

FARMERS TABLE柏の葉にて懇親会が行われ、多くの参加者が親交を深めていました。

